



ヒガンバナ

清友

No.181

2024年9月
(2024年9月3日発行)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ5F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



清澄庭園・大泉水と涼亭



深川江戸資料館に再現された江戸の街並

フィールドワーク案内

- 日時 10月18日(金)
- 集合 9時30分
「清澄白河」駅 A3 出口前
* B2F ホーム / 都営地下鉄大江戸線
* B3F ホーム / 東京メトロ半蔵門線
- コース
 - ① 深川江戸資料館見学
 - ② 清澄庭園散策
 - ③ 芭蕉記念館見学
 - ④ ランチ宴会 (現時点では場所未定)
* 清澄庭園から芭蕉記念館への徒歩移動 (30分程度) が困難な方にタクシー提供?
- 会費 3,000 円の予定
(各施設入館料含む)
※年齢を証明できるもの(免許証・保険証等)を持参ください。

「深川」命名の由来？
「深川までが江戸のうち」。
一面の干潟だった深川は、
家康の命により深川八郎右衛
門が小名木川を開削したこと
により、大きく変貌していき
ました。「深川」村は深川八郎

「歴史と平和を考えるフィー
ルドワーク」24秋は、東京の
スポットめぐり「深川探訪」。
江戸・東京の歴史と文化にふ
れる半日散歩です。

右衛門にちなんだものです。
干拓が進み、貯木場等物流
拠点となる一方、富岡八幡宮
等創建や明暦の大火による寺
院移転、さらに、岡場所など
の行楽地もつくられ清濁あわ
せもつ地として発展しました。
松尾芭蕉は37歳で深川に移
り住み、深川で没しました。「奥
の細道」は深川が出发点です。

「深川」命名の由来？
「深川までが江戸のうち」。
一面の干潟だった深川は、
家康の命により深川八郎右衛
門が小名木川を開削したこと
により、大きく変貌していき
ました。「深川」村は深川八郎

「深川」命名の由来？
「深川までが江戸のうち」。
一面の干潟だった深川は、
家康の命により深川八郎右衛
門が小名木川を開削したこと
により、大きく変貌していき
ました。「深川」村は深川八郎

そんな深川の歴史と文化の
一端を観て歩きます。そして、
シメはランチ宴会です。
なお、今回から雨天対策と
して「予備日」を設定しました。
予備日は10月22日です。

10・18

深川の「歴史と文化」探訪

雨天順延↓10月22日を予備日に設定

小江戸川越・蔵の街と温泉

11月15日(金)

今年の日帰りツアーは、「小江戸川越・蔵の街めぐりと温泉でほっこり」がテーマ、実施日は11月15日(金・予備日設定なし)です。

川越はご存知の方も多いと思いますが、見どころ満載。「蔵の街」「時の鐘」「レトロな洋館」「菓子屋横丁」「喜多院」「中院」「川越城」などなど。一日いても飽きないでしょう。

そんな川越を2時間ほど散策(各自散策か

集団散策か検討中)、「蔵の街」近くにある「川越湯遊ランドホテル三光」で温泉&宴会。

参加費は3千円程度の予定です。参加募集は10月始めに行います。11月15日は空けておいてくださいね。



川越「時の鐘」

9月11日(水)

秋の学習交流会

秋の学習会のテーマは「社会保障制度見直しの動向と課題」、講師は自治体退職者会事務局長川端邦彦さん。交流会も予定しています。

来年は年金制度改革が行われる年であり、①被用者保険の適用拡大、②在職老齢年金制度見直し、③遺族厚生年金の一部有期化などが検討されています。後期高齢者医療制度は保険料の上げが、介護保険制度は、「現役並所得」等の判断基準改悪に基づく保険料・利用者負担増が検討されています。

多岐にわたる課題を内包する社会保障制度見直しの動向や課題を学習したいと考えています。是非参加ください。



川端邦彦さん
23年1月
都退協学習会にて

9月・10月の主な行事と行動予定



- 退職者会学習交流会
 - *日時 9月11日(水)
 - *場所 清掃会館
- ▼さよなら原発全国集会
 - *日時 9月16日(月・休)
 - *場所 代々木公園くデモ
- ▼改憲阻止9・19行動
 - *日時 9月19日(木)
 - *場所 日比谷野音くデモ
- ▼移住者と共生していく社会をめぐろう!9・20集会
 - *日時 9月20日(金)
 - *場所 文京区民センター
- *テーマ 外国人労働者の差別を助長する入管法改悪・育成就業制度の問題点
 - 講師:指宿昭一弁護士
 - *資料代 800円(各自負担)
- ▼狭山事件の再審を求める東京集会
 - *日時 9月25日(水)
 - *場所 台東区民会館
- 都庁退親睦交流会
 - *日時 9月27日(金)
 - *場所 煉瓦堂朱とんぼ
- 清掃人権交流会「登戸研究所」フィールドワーク
 - *日時 9月29日(日)
 - *集合 12時45分
 - *場所 小田急線「生田駅」改札口
 - *会場 登戸研究所資料館
 - *会費 500円(各自負担)
- 深川フィールドワーク
 - *日時 10月18日(金)
 - *場所 「清澄白河」駅集合
 - *日時 10月19日(土)
 - *場所 衆院議員第二会館前
- ▼10・22東京総行動
 - *日時 10月22日(火)
 - *場所 日本製鉄(二重橋)
- 途中省略
 - 15時10分 日東電工(品川)
 - 16時20分 JAL(天王洲アイル)

年金改訂

社会保障制度審議会年金部会議論の動向
3号被保険者制度見直しの必要性は
共通認識、国民年金制度維持にマク
ロ経済スライド調整期間見直し必至



増大の遠因となり、「失われた30年」をもたらしました。

本来、第3号被保険者制度は撤廃すべきですが、人の一生に関わる年金制度改訂はそう簡単ではありません。厚労省や識者の中では、「第3号被保険者は既に800万人を切っており、被用者保険適用拡大により極小化するの、あえて廃止は不要」とする考え方があります。しかし、夫婦とも保険料を負担する第1号被保険者や単身女性労働者の眼から「不公平」感を感じるものではありません。真の男女平等をめざす立場から再考すべき課題です。

来年の年金制度改定へ向けた検討が進んでいます。今次改訂では①働き方に中立的制度確立（被用者保険適用拡大、3号被保険者制度見直し）、②ライフスタイル多様化への対応（遺族年金・加給年金見直し）、③所得保障・再配分機能強化（マクロ経済スライド調整期間一致等）が主要課題です。

対象で、保険料は配偶者が納める厚生年金保険料に含まれ、「当該被扶養配偶者が共同負担した」とされています。

この3号被保険者は、『男女雇用機会均等法』が施行された85年に「基礎年金」導入とともに、女性の年金確立を目的に成立しました。当時、「夫が働き、妻が家事」を前提にした第3号被保険者創設に女性団体の大多数が反対しました。また、被扶養者の範囲内でパート労働する「年収の壁」が、最低賃金の底上げを阻害し、「非正規労働拡大」をもたらすと、懸念されていました。

3号被保険者は矛盾の産物

被用者保険適用拡大は、年収の「壁」と3号被保険者制度見直しと関連してきます。

年金の被保険者は、1号（自営業者、厚生年金非適用者）、2号（労働者）、3号（被用者保険加入者の配偶者）となっており、3号被保険者はいわゆる「サラリーマンの妻」が

「当該被扶養配偶者が共同負担」という考え方は、被用者健康保険の仕組みを踏襲したものです。が、「応能負担」の健康保険の仕組みを「応益負担」的要素の国民年金へ応用したことに問題がありました。

結果として、非正規労働者

在職高齢年金制度撤廃論も

在職高齢年金制度に基づく65歳以上の在職受給者は248万人、在職停止者はその17%です。「年金を全額受給できないことによるモチベーション低下」を問題視し全廃も含む議論が行われています。現受給者には朗報ですが、「マクロ経済スライド調整期間」を延伸させ、将来世代の年金水準に

影響を及ぼすこととなります。

国民年金維持が求められる

所得保障・再配分機能の強化として「マクロ経済スライド調整期間の一致」があげられています。「マクロ経済スライド調整」は将来世代の年金確保を目的に、「年金被保険者数の増減」と「平均余命の伸び」の2要素に基づきスライド調整率を設定し支給額を抑制する仕組みで、「国民年金」と「厚生年金」は別勘定です。大雑把にいつて、「国民年金」加入者減少と「厚生年金」加入者増大などに起因して「マクロ経済スライド調整」の終了期は「厚生年金」より「国民年金」の方が遅くなり、「国民年金」の目減りが著しくなります。

公的年金全体の財政均衡に基づきマクロ経済スライド調整期間の一致を図ると、結果として「厚生年金」部分が減少し、「国民年金」部分が維持されます。これにより所得保障・再配分機能が強化されることとなります。ただし、将来的には「国庫負担」の増大を招くこととなります。

「マクロ経済スライド調整期間」問題を中心に報告します。

「当該被扶養配偶者が共同負担」という考え方は、被用者健康保険の仕組みを踏襲したものです。が、「応能負担」の健康保険の仕組みを「応益負担」的要素の国民年金へ応用したことに問題がありました。

結果として、非正規労働者

人事院告 勸

約30年ぶりの高水準ベア勸告
人事院は自画自賛

▽過去最大、大卒初任給3万円弱引上
▽地域手当都道府県単位に広域化
▽配偶者手当廃止、子どもの手当増額

人材確保重視の引上勸告

人事院は8月8日、①採用市場の競争力向上へ初任給大幅引上げ、若年層から30歳台後半までの職員に重点を置き改定、②ボーナスを0・1月引上げ、③寒冷地手当改善、給与制度のアップデートとして、①初任給・若年層の水準大幅引上げ（先行実施）、職責重視

の体系へ抜本見直し、②地域手当を都道府県単位とし、級地を5段階に削減、③配偶者扶養手当廃止、子の手当増額、④成績優秀者の勤勉手当支給上限引上げ（標準者の約3倍）、⑤任期付専門人材のボーナス拡充、再任用職員の手当拡大等の勸告を行いました。

給与のフラット化に懸念

自治労は、「32年ぶりに月例給引上げが2%を超えたことは、24春闘の成果を反映したものといえるが、若年層と中高年層の改定率に極めて大きな格差があることは不満。初任給の引き上げの過熱化により、給与のフラット化進行の懸念があり、給与改定のあり方を含めた見直しが必要」「給与制度のアップデートでは、一部のキャリア優遇措置や、上位評価者へのメリツト偏向に対しては不満」等の見解を明らかにしました。

東京清掃の闘いを応援

「人材確保」の必要性は、若



昨年の東京清掃賃金確定総決起集会
(写真は東京清掃提供)

年層だけの問題ではありません。中高年齢層の「実質賃金低下」の防止も人材確保策です。東京清掃の課題は、現業賃金水準を抜本的に改善することです。退職者会は今年も現役世代の闘いを応援します。

人事院勸告・報告の概要

1) 給与に関する勸告

<月例給>

○官民較差：11,183円(2.76%)

○行政職俸給表(一)

*採用市場の競争力向上のため、初任給を大幅に引上げ

総合職(大卒)+29,300円(14.6%)

一般職(大卒)+23,800円(12.1%)

一般職(高卒)+21,400円(12.8%)

*若年層に特に重点を置きつつ、全職員対象に全俸給表を引上げ改定

行政職俸給表(一)平均改定率

1級11.1%、2級7.6%、全体3.0%

<ボーナス>

*民間の支給状況を調査し官民比較

年間4.50月分→4.60月分

期末手当、勤勉手当0.05月分引上げ

<寒冷地手当>

*民間の同種手当支給額を踏まえ、改定

*気象データに基づき、対象地域改定

2) 給与制度のアップデート(勸告)

*25年4月実施(初任給・若年層水準引上げは、24年4月先行実施)

<俸給>初任給・若年層の水準大幅引上げ、係長以上はより職責重視、特に本府省課室長級は役割に見合う処遇に

<地域手当>都道府県単位(中核的市は個別指定)とし、級地を5段階に削減の上で民間賃金を反映(激変緩和措置)

<通勤手当>支給限度額を月15万円に引上げ、新幹線通勤の要件緩和

<扶養手当>配偶者の手当を廃止、子の手当を増額

<ボーナス>成績優秀者への勤勉手当支給上限引上げ(標準者の約3倍可能に)

任期付専門人材のボーナス拡充

<その他手当>再任用職員の手当拡大(住居手当、特地勤務手当、寒冷地手当等)

3) 国家公務員の育児休業法改正(意見)

*民間労働法制の内容も踏まえ、子の年齢に応じた柔軟な働き方実現のための措置拡充

*非常勤職員の育児時間を、対象となる子の範囲を小学校就学前の子に拡大

基地と原発のない国にするために

労働者と市民の連携の場として旧総評が結成した国民文化会議の流れをくむ『市民文化フォーラム』主催の8・15集会が日本教育会館で開かれました。テーマは「民主主義の再起動〜基地と原発のない国にするために」。

問題提起は元東京新聞論説委員で防衛ジャーナリストの半田滋さん、討論参加者は反原発運動の国学院大学名誉教



授菅井益郎さん、元SEALDSの弁護士久道瑛未さん、総がかり行動実行委の菱山奈緒子さん、社会運動論の専修大学准教授森啓輔さん。示唆に富んだ討論になりました。

安全保障上の日本の位置

以下、半田滋さんの報告。

◆名実ともに戦争できる国に

「特定秘密保護法」「安全保障関連法」「共謀罪法」「土地利用規制法」の戦争4法で戦争する力をもったが、自衛隊には具体的な攻撃能力がない。そこで安保3文書。敵基地攻撃能力をもち、防衛費はGDP 2%。戦争できる国になった。

◆軍拡は明確に憲法違反

4月の日米首脳会議で「指揮統制の連携強化」が決まった。自衛隊は米軍の情報がないと攻撃できない。米軍の方が情報量も軍備も圧倒的に上なので、指揮権は米軍が握る。自衛隊は米軍の指揮下に入り、憲法上の「必要最小限の実力」は空文化する。

米軍基地が攻撃されれば自

衛隊基地を使うことになる。

戦場となる南西諸島から山口・九州へ退避する計画だが。対象は12万人、石垣・宮古だけで退避に必要な航空機は816機、日本全国に存在する全航空機でも不足。退避できない。

沖縄本島からの退避は70日以上かかるので、沖縄は「屋内退避」になった。望まないことは起きない「お花畑」論。

◆防衛費倍増は国民負担に

27年度に不足する防衛費財源は4兆円、決算剰余金等は安定財源ではなく、赤字国債しかない。結局は増税になる。

◆武力ではなく対話で平和を

中国は台湾を国内問題としており、台湾有事は中国にとつては自衛戦争。台湾を守ることはアメリカの国益問題。アメリカのための戦争だ。台湾有事は日本有事になる。戦争にならないよう、米中に働きかけることが必要。

*討論*運動の日常化

半田さんの報告を受け、4人が自分史を含め意見を述べて討論に入りました。

◆菱山さん 運動に若い人が

いないというが、どこへ行っても若い人はいない。横のつながりに価値を求めないからだが、都知事選の「独り街宣」は若い人が始めた。ガザなど若い人も関心を持っていて。契機があれば運動は起る。

▼半田さん 15年の安保法制は国会前に10万人集まった。22年の安保三文書では人が集まらなかった。理由は明白。15年安保法制は国会論議があり、可視化された。石丸現象はSNS、市民運動はNETを通じて行すべき。

▼久道さん 若い人は何をやったらいいか判っていない。既存の組織に若い人は入りにくい。組織に拘らず、ネットワーク的につながればいい。

▼森さん 既存の組織に入ることは、心情的リスクがあるが、NET環境は参入コストが低い。ネットワーク型のつながりで運動を進めればいい。

実は、若い人は政治に興味をもっている。SNSで知ることができからだが、大学内で運動も広がっている。市民運動もインスタグラムなどの利用を考えたらいかがか。

戦争犠牲者追悼、平和を誓う8・15集会

自衛隊と靖國癒着、反省しない日本を象徴

敗戦から79年、今年も8月15日に平和フォーラム主催の『戦争犠牲者追悼、平和を誓う8・15集会』が、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で開かれました。

改めて、世界の恒久平和実現へ向けた不断の努力を誓う

黙祷に続き、平和フォーラム共同代表染裕之さん、立憲民主党阿部知子さん、社会民主党党首福島瑞穂さん、戦争させない1000人委員会事務



平和を誓い献花する集会参加者

局長内田雅敏さんが『誓いのことば』を述べ、「歴史の忘却を許さず、平和憲法の理念のもと、世界の恒久平和の実現に向け：不断の努力を続けていく」（染発言）決意を込め、参加者全員が献花しました。

自衛隊と靖國の癒着は危険 旧帝国軍隊へ回帰させるな

『誓いのことば』で内田雅敏さんは、自衛隊の靖國神社集団参拝や元海将の靖國宮司就任など、自衛隊と靖國との癒着に警鐘を鳴らしました。

軍国主義の精神的支柱だった靖國は、A級戦犯合祀に象徴されるように、現在も侵略を肯定する「聖戦史観」に拠って立っており、諸外国にも存在する公立戦没者追悼施設とは意味付けが全く異なります。

自衛隊の靖國癒着は、帝国軍隊回帰願望を疑わざるをえません。「反省しない日本」の軍拡は、中国・北朝鮮を刺激します。「戦争する国」にしない取組みは喫緊の課題です。

終わらせよう！裏金・金権腐敗自民党政治

8月14日、岸田首相は退陣を表明し、「自民党総裁選」情勢が連日報道される中で行われた8月の総がかり19日行動は、「岸田退陣で裏金・金権腐敗政治をなかつたことにするな！」と、岸田無責任内閣批判の声が集まりました。

監視国家化を許すな！

市民からの発言で『マスクミ文化情報労組会議』の岩崎貞明事務局次長は、「特定秘密保護法は、漏洩した公務員だけでなく、漏洩をそのかした者も懲罰対象。報道関係者も教唆・共謀・扇動の対象となりうる。自衛隊の特定秘密漏洩事件等により規制が厳しくなりかねず、取材を委縮させ民主主義を根底から崩す危険性がある。経済安保保護法は、対象を民間にも広げたもので、プライバシーを侵害し、メディアの自粛、監視国家化につながる」と批判しました。

女性の貧困をなくせ！

『女性による女性のための相

談会』は、「7月の相談会に83名参加。女性の貧困の深刻さは明らかだ。今すぐ、最賃を1500円以上へ引上げるべきだ。家父長制の下では女性差別はなくならない。子どもたちが自由に生きられる社会にするためにも、政権交代を実現し、戦争のない平和な社会をつくろう」と訴えました。

その他、『基地・軍隊は知らない4・29実行委員会』から、沖縄の米兵性犯罪事件を批判する発言が行われました。

